

さとう ゆみ

きらめく未来づくり通信

2018年7月発行 NO. 34 ~6月議会報告~

〒480-1157長久手市桜作1708-1

市民の想いでまちは変えられる!

TEL:0561-61-6991

携帯:090-5863-9971

E-mail:info@satoyumi.net

☆さとうゆみ議会報告会☆

8/25(土)14時~16時

長久手交流プラザ2階(中会議室2)



高齢者移動支援の実証実験が始まります

高齢者移動支援事業(定額乗合タクシー)の実証実験を行うための補正予算を可決しました。市がタクシー3台(乗客3人乗り1台、9人乗り2台)を借り上げ、「赤あつたかあど」保有者(65歳以上の方、12歳以上の各種障害者手帳をお持ちの方)を対象に乗り合いの移動支援を行うものです。乗車1回につき500円です。期間は平成30年9月から10月までの2カ月間で、来年度予算に正式に組み込むかを判断する実証実験です。



私はこれまでの一般質問で、高齢者移動支援として自宅から目的地まで行ける車両の導入を提案し、想いが反映されました。高齢になっても、運転免許証を返納しても、買い物や通院に困らない環境整備に取り組んでいきます。

※「赤あつたかあど」は長寿課、福祉の家事務室で発行

ブロック塀等撤去費補助制度が新設

6月の大阪北部地震で尊い命が犠牲になったブロック塀の倒壊事故を受け「ブロック塀等撤去費補助制度」を新設するための補正予算を可決しました。

道路や公園、緑道に面したブロック塀等について、撤去に要した経費と撤去したブロック塀等の面積に1㎡当たり1万円を乗じて得た額のいずれか少ない額の2分の1(限度額20万円)を補助するものです。ブロック塀の他、1m以上の高さのあるレンガの塀や、石積みの塀も対象です。所有者の皆さまには、この制度を活用して撤去を進めていただきたいと思えます。

夏休みから学校施設で工事が進みます

市が一般競争入札で落札した業者と工事請負契約を締結する議案3件を可決しました。

長久手小学校亜炭鉱空洞充てん工事 1億4040万円

平成28年度のエレベーター設置工事で亜炭鉱空洞が見つかり、校舎と体育館の下を充てん。

北小学校多目的棟新築工事 1億5431万4000円

平成31年4月から北小敷地内で児童クラブ(定員80人)と放課後子ども教室(定員60人)を開設。

長久手中学校大規模改修工事 1億7176万3200円

築40年が経過する校舎の屋根や外壁などを大規模修繕。

市に古民家が2つ必要か?

《さとうゆみ6月議会一般質問から》市は、市内に現存する江戸時代後期の建物を譲り受け、古戦場公園再整備に合わせて古戦場公園内に移築し、歴史民俗体験施設にするるとともに国登録有形文化財にすることをめざしていました。しかし、文化財登録前提の移築は高額であるため、現地(岩作石田)で保存活用することを決めました。古戦場公園には、計画している機能を実現するため、別の古民家を移築する考えがあることから、質問しました。



Qさとう 市に古民家が2つ必要か。

A 文化部長 古戦場に移築可能な古民家が定まってい

ないため、古民家の移築に限らず検討する。

Qさとう 古戦場には「古民家を移築」「新たな建物を建築」「建築しない」の3つの選択肢があるということだが、結論はいつ出すか。

A 文化部長 平成30年度の基本設計でめどを立て平成34年度の供用開始に向け進める。

Qさとう 現地保存の古民家はどのような価値があるか。

A 文化部長 明治時代に瀬戸の品野村から移築され、構造から江戸時代後期のものと推定される。市内に現存する最古の民家である。家主は代々農家。

~さとうゆみの考え~

古戦場公園再整備で江戸時代の古民家を移築する計画となったのは、市民ワークショップで出た意見からです。有識者会議では「古戦場にふさわしくない」との意見と「貴重な文化財として古民家を確保できるので移築して歴史民俗体験施設をつくろう」との意見がありました。結果的に、対象の古民家は現地保存となったため、条件が根底から変わってきました。現地保存の古民家は借地であり、多額の修繕費を要するという課題もあります。市がどのように使っていくのかは、これから定める保存活用計画で決めるそうです。1つ1つの必要性を明確にし、市民の理解を得られるように進めるべきだと考えます。



中学生の読書習慣の形成を

Qさとう 小学生は学校図書館を活用しているが、中学生になると利用が激減する要因は何か。

A教育部長 中学校では長い放課がなく、授業で直接使う時間も少ないことが要因と考えられる。

Qさとう 中学2年生の67.2%は1カ月に1度も学校図書館へ行かないと答えている。市は中学校3校合計で毎年約2,000冊の本を新たに購入しているが、平成28年度の年間貸出冊数は3校合計で8,653冊であり、蔵書が十分活用されていない。学校図書館の利用を促進できないか。

A教育部長 学校図書館の本を各クラス40冊ずつ学級文庫として配置している。様々な本に触れる機会を増やすことで利用につなげる。

北小の児童数増加への対応はどのようか

Qさとう 児童数増加により今年度から中止するとしている持久走大会の継続を求める声が複数の児童、保護者から届いているが、継続できないか。

A教育部長 大会に向けた十分な練習が難しくなり、継続は困難である。

Qさとう 平成31年度から学校敷地内で開設する放課後児童クラブは定員80人だが、平成30年度申し込みでも100人を超えており、不足分をどう考えているか。

A教育部長 今後整備する北児童館(旧長湫北保育園跡地)において、第2児童クラブを開設する方向で検討している。

「コミュニティ活動事業費補助金」と「まちづくり事業交付金」の効果は

Qさとう これまでどのようなことに使われているか。

Aくらし文化部長 夏祭り、清掃活動、防災講演会や防災備品(発電機)の購入、防犯カメラ維持管理費、伝統継承の衣装や道具の購入に使われている。

Qさとう 各地区のお金の使い方は市長のめざしたものになっているか。

Aくらし文化部長 一定の成果が出ており市のめざすものになっているが、新しい課題に着手されていないため、交付対象事業、交付方法の見直しを検討する。

☆さとうゆみプロフィール☆ 1978年名古屋市名東区生まれ
2000年南山大学文学部卒業、損害保険会社に勤務
2011年市民活動を経て33才で長久手町議会議員に初当選
2015年2期目当選 家族:夫、息子(高校1年)、娘(小学4年)
どの政党にも属さず長久手に暮らす人の立場で発言します!

《平成30年6月議会さとうゆみ一般質問から》

～さとうゆみの考え～

「第2次長久手市子ども読書活動推進計画」(平成30年度～34年度)の策定に向けて行われた中学2年生へのアンケートで、中学生の読書離れが進んでいる状況が明らかになりました。

現在、中央図書館の学校連携司書が中学校1校につき週1～2回訪問していますが、平成34年度には各校に1人司書を配置するとしているので、図書館が活用されていない現状は改善することが必要です。「あなたは本を読むことが好きですか?」という質問では、中学2年生の75%以上が「好き」「どちらかといえば好き」と答えており、取り組み次第で読書習慣の形成が可能だと考えます。

～さとうゆみの考え～

北小学校の児童数は平成30年4月時点で952人、平成35年には1,230人程度になると見込まれています。教室が不足するため、現在新たな校舎を増築中です。児童数増加により今年度から持久走大会が実施できなくなるなど、様々な面で北小の状況が変わってきたことから、市の対応策について質問しました。

学校敷地内にこれから建設する児童クラブも、明らかに待機児童が出るものだと指摘したところ、北児童館で第2児童クラブを整備するとの答弁を得ました。児童数増加に対応できているか、引き続き確認します。



～さとうゆみの考え～

市長の方針でこの補助金制度を始めた6年前は合計700万円の予算でしたが、平成30年度はコミュニティ活動事業費補助金(自治会連合会、区会対象)とまちづくり事業交付金(まちづくり協議会、準備会対象)で合計2,000万円を超える予算に膨らんでいるので、効果について問いました。地域の判断で自由に使える補助金ですから、住民の要望を広く吸い上げる体制の構築が必要だと考えます。もともと行っていた事業に充てると内部留保金が増えていくという課題もあります。

旧来の枠組みである区会に補助金をつけることは、市長の進めている小学校区ごとのまちづくりに逆行しているのではないのでしょうか。

さとうゆみブログ「きらめく未来づくり日記」で
長久手市、市議会の最新情報を毎日発信中→



◇◇◇9月議会的一般質問 8月31日、9月3日、4日◇◇◇

